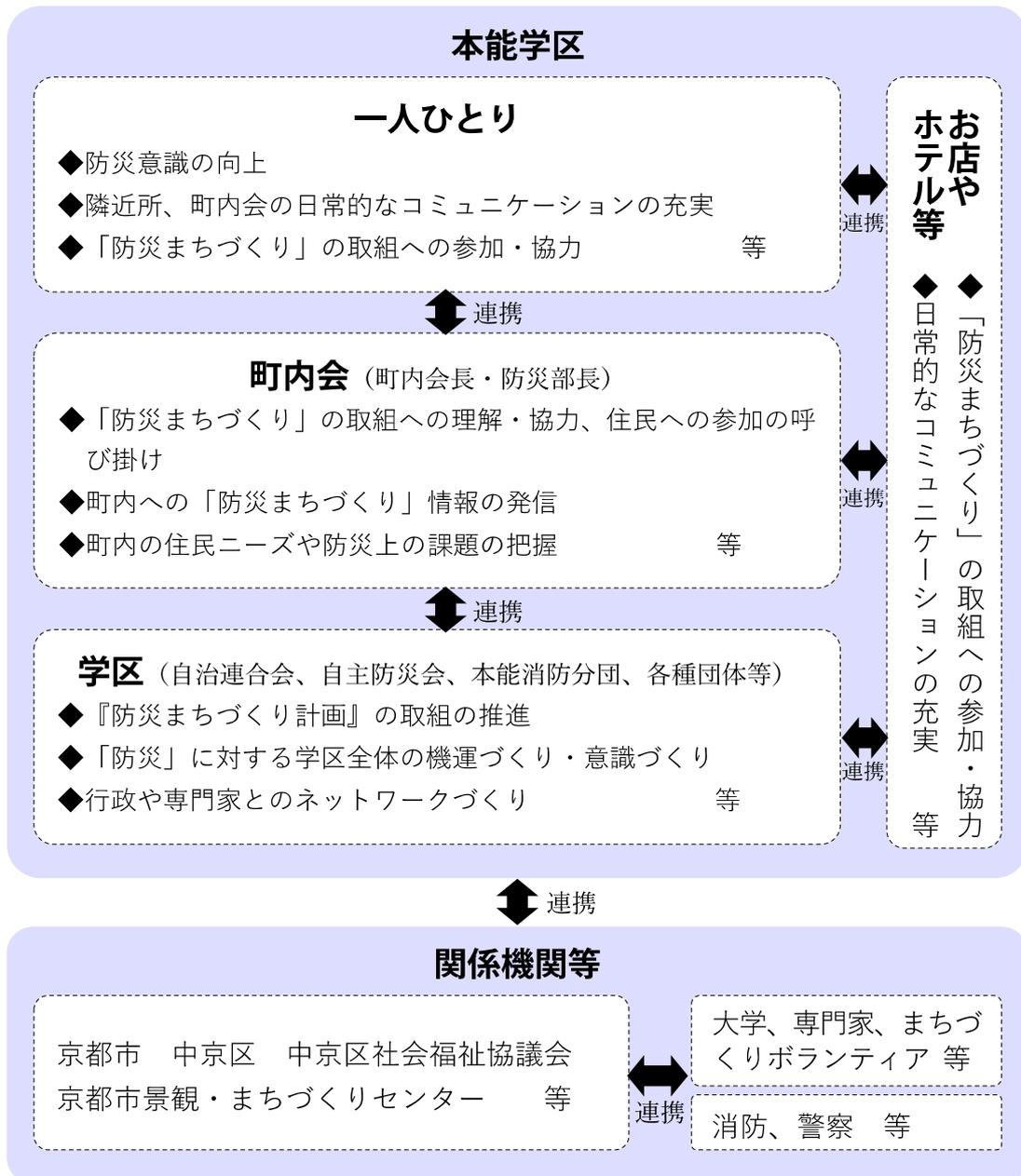


第4章 防災まちづくりの進め方

(1) 主体ごとの役割

本能学区では、一人ひとり、町内会、学区が相互に協力・連携を図りながら、防災まちづくりの取組を進めていきます。また、防災まちづくりの取組に当たっては、関係機関等とも連携して取り組んでいきます。



(2) 「一人ひとり」の役割

災害に強いまちをつくるためには、一人ひとりの防災まちづくりの取組が不可欠です。防災まちあるきや総合防災訓練など、学区の防災まちづくりの取組の機会を活用するなどして、一人ひとりの防災まちづくりの取組を確認し、「防災」に対する意識や関心を高めていきます。

防災まちづくりチェックシート【一人ひとり版】 自分が取り組んでいることを確認しよう！

目標 1 ご近所、町内の繋がり、助け合いで安全な「暮らし」をつくる

- ①あいさつ、声掛けなど、日頃から近所付き合いを大切にしている
- ②学区や町内の行事に参加している
- ③非常持出袋（防災袋）を準備している
- ④ハザードマップで自宅周辺の被害の状況を確認している
- ⑤回覧板などで「防災」に関する情報を確認している

目標 2 京都らしさを大切にしつつ、災害に強い「いえ」をつくる

- ⑥家具の固定など、家の中の安全対策をしている
- ⑦自宅に火災報知器や感震ブレーカーをつけている
- ⑧耐震診断や耐震改修などの補助金があることを知っている
- ⑨燃えやすいものを玄関先や家の周りに置かないようにしている
- ⑩自分の町内にある空き家を知っている

目標 3 日々の暮らしを支え、 災害時にも安全に避難できる「みち」をつくる

- ⑪植木鉢や自転車など、家の周りは整理・整頓している
- ⑫自宅から「地域の集合場所」までの避難経路を確認している

目標 4 地域の特徴を活かした安全な「まち」をつくる

- ⑬自分の町内の「地域の集合場所」を知っている
- ⑭本能学区の「避難所」を知っている
- ⑮町内のマンションやホテル等を確認している

(3) 「町内会」の役割

町内の防災まちづくりの取組についても、学区の防災まちづくりの取組の機会を活用するなどして、町内の防災まちづくりの取組を確認し、町内の防災力を高めていきます。

防災まちづくりチェックシート【町内会版】

町内の「防災」の取組を確認しよう！

目標 1 ご近所、町内の繋がり、助け合いで安全な「暮らし」をつくる

- ①学区や町内の行事への参加を呼び掛けている
- ②町内会に入っていない方に町内会への加入を呼び掛けている
- ③行政や学区からの「防災」に関する情報を住民に伝えている
- ④総会や地蔵盆など、町内の集まりの際に「防災」について話をしている
- ⑤災害時に安否確認が必要な方を確認している
- ⑥災害時の安否確認や救出救護などの役割分担を確認している
- ⑦町内の消火器や防火バケツを確認している

目標 2 京都らしさを大切にしつつ、災害に強い「いえ」をつくる

- ⑧「いえ」に関する行政の支援制度などを住民に伝えている
- ⑨町内にある空き家や空き家所有者、連絡先などを把握している
- ⑩町内にあるマンションの防災への取組を呼び掛け、支援している

目標 3 日々の暮らしを支え、

災害時にも安全に避難できる「みち」をつくる

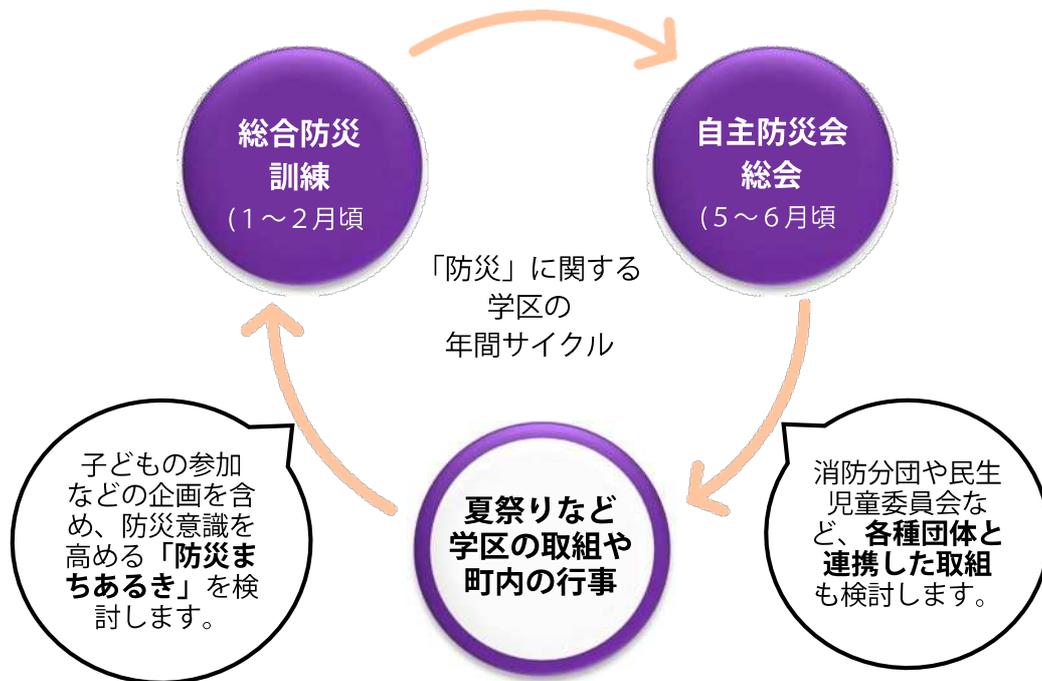
- ⑪ブロック塀の改善など、行政の支援制度などを住民に伝えている
- ⑫「地域の集合場所」から避難所への避難経路の安全性を確認している

目標 4 地域の特徴を活かした安全な「まち」をつくる

- ⑬町内の「地域の集合場所」を町内で共有している
- ⑭町内の「地域の集合場所」周辺の安全性を確認している
- ⑮災害時におけるマンションやホテル等との連携を進めている
- ⑯お店や事業所などの方と、日頃からコミュニケーションをとっている

(4) 取組スケジュール

本能学区では、毎年度、自主防災会が各町内会の防災部長を対象とした総会、本能学区の住民を対象とした総合防災訓練に取り組んでいます。こうした機会と連携して「防災まちづくり」の取組を企画・実践していきます。



▶ 自主防災会総会

- ◆防災部長を対象に、災害時の町内会のリーダーとして、「防災まちづくり」の取組や助成制度等を学習したり、町内の課題を解決するための対策などについて意見交換を行う『**防災まちづくり勉強会・意見交換会**（ワークショップ）』の開催を検討します。
- ◆『**防災まちづくりチェックシート【町内会版】**』を活用し、町内会の防災の取組の確認、町内会の取組の実践を促します。

▶ 総合防災訓練

- ◆大規模災害時における避難所での避難者対応や、発生しうる様々な出来事などをゲーム感覚で体験し、避難所運営に関する知識や運営のポイントなどを学習する『**避難所運営ゲーム (HUG)**』の開催を検討します。また、本能学区の避難所運営の課題に合わせて、話し合いの基となるゲームを検討します。
- ◆『**防災まちづくりチェックシート【一人ひとり版】**』を活用し、一人ひとりの防災まちづくりの取組の確認、「防災」に対する意識や関心の向上につなげます。

▶ 夏祭りなど学区の取組や町内の行事

- ◆取組や行事と連携して「防災まちづくり」の情報発信等に取り組めます。

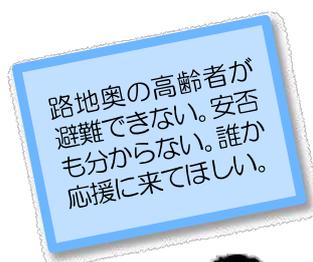
■（仮称）『本能学区 避難・避難所開設・運営ゲーム』のイメージ（案）

▶ ゲームの目的

- ・大きな災害が発生した場合に開設する避難所は、地域住民で協力して開設・運営する必要があります。このため、避難する住民同士が協力し合いながら避難所を開設・運営していけるよう、避難から避難所の開設・受付、避難所の運営などの各段階におけるポイントを考え、学びます。

▶ ゲームの進め方

- ・避難所では、様々な事情を抱えた人が避難するため、その都度、いろいろな判断が必要になります。
- ・『本能学区 避難・避難所開設・運営ゲーム』では、状況に応じて判断が必要になる出来事が何枚ものカードになっています。
- ・グループごとに、参加者の1人がカードを引き、カードに書いてある出来事について、自分の考えを青色のふせんに書き込み、その後、グループ全員で意見交換します。グループメンバーの意見は黄色のふせんに書き込んでおきましょう。
- ・グループの考えがまとまった場合、まとまった考え方等をピンク色のふせんに書きましょう。グループの考えがまとまらない場合は、残り時間を見て、次のカードに進みましょう。（通常は、1カード、3分くらいが目安です。）
- ・付属してある避難所の図面や備蓄品の情報を一緒に確認しながら、ゲームを進めましょう。
- ・制限時間がきたら、グループごとに、意見交換・考えたカードの数、グループで考えがまとまったカードの数を確認し、グループごとの発表を通して参加者全員で共有しましょう。グループで考えがまとまったカードの数が多いほど、避難や避難所の開設・運営がスムーズにできると言えるでしょう。
- ・避難所で判断が必要になる出来事や、判断の際にポイントになること等を事前に確認し、事前に準備できることがあれば、大きな災害に備えて計画的に準備を進めていきましょう。災害から命と財産を守るためには、事前の備えが大切です。



- ◆カードは、「発災後から避難まで」（青色）、「避難所の開設・受付」（黄色）、「避難所の運営」（ピンク色）の段階ごとにそれぞれ約20枚あり、段階ごとに、通し番号が大きくなるにつれて、判断が必要になる出来事が難しくなります。
- ◆目的や参加者、ゲーム時間に応じて、使用するカードを選択すると（例えば、青色の「発災後から避難まで」の段階だけのカードを使うとか、3つの段階の10枚だけをそれぞれ使うなど）、初心者から上級者まで楽しめます。
- ◆制限時間は、概ね1時間程度が目安になります。

▶ 意見交換のまとめ方

- ・グループで話し合った内容は、グループ発表を意識して「取りまとめシート」にまとめましょう。災害前にできることは、何から取り組むかも整理しましょう。

	出来事カード (考えた内容)	引いた人の考え (青色のふせん)	グループの意見交換の内容 (黄色のふせん)				グループのまとめ (ピンク色のふせん)	災害前にできること・しておくこと等
①	路地奥の高齢者が避難できない、安否も分からない、誰か応援に来てほしい	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	★ 町内会ごとに高齢者など安否確認が必要な人を把握しておく	
②	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----			
③	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----				
④	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----			
⑤	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----		----- ----- -----	★ 学区として、ペットの避難の考え方をまとめておく	
⑥	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----			----- ----- -----		
⑦	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----		
⑧	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----		----- ----- -----		
⑨	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----			
⑩	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----			
⑪	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----		----- ----- -----	★ ホテル等と災害時の連携体制について協力をお願いしておく	
⑫	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----		----- ----- -----		
⑬	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----			
⑭	○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----			



本能学区 防災まちづくり計画

令和4年3月